

議会だより

No.184

令和6年
9月定例会

みなさんのご意見に
お答えします

次のページへ

第14回 議会報告会



300件の **声** に お答えします

議会報告会
での
ご意見



4会場で113名の方にご参加いただきました

5月の議会報告会で寄せられたご意見を
持ち帰り、議員全員で調査し回答をまとめ
ました。町への提言や委員会調査などを通
じて、今後の政策立案に生かします。

全文は
議会ホームページを
ご覧ください



歩道の整備を
急いで



平田さん(今)

横断歩道は整備が進みま
したが、まだ狭くて危険な
通学路が多い。予算を増や
しても歩道の整備を急い
でほしい。

交通や地域

意見 危険な通学路の安全対策を急いでほしい

議会 通学路の安全確保は重要課題であり、町と一
体となって関係機関へ働きかけます。信号機、歩
道、通行規制などをともなう事項は、公安委員会
との協議や地元関係者の理解が必要なので、行政
区や町とも十分に協議し、前進をめざします。

災害

意見 防災無線は、コミュニティ放送などに活用
しては

議会 災害時の情報伝達の拡充、強化について
も対応を求めます。また、防災無線は各行政
区内で独自に使用可能ですので区長さんにご
確認ください。

調節池の
有効活用を



江下さん(南本郷)

調節池の造成は水害防止
に効果的だと思いますが、
完成後は草刈りなど管理を
しっかりお願いしたい。平
時の有効活用も検討を。

意見 調節池の効果は。県の工事らしいが地元
情報が来ない

議会 陣屋川の調節池整備計画は、土地買収に
向けた準備が進められているようです。具体
的なスケジュールは未定ですが、完成時期
は令和9年ごろとのこと。町にも十分な
説明を求めます。



資源回収ステーション (本郷)

意見 校区センターの資源回収ステーションは今
後どうなるのか

議会 登録者数や持ち込み量も増え、地域に定着
しつつあり、議会としては、所管の委員会を中
心に事業効果を調査します。

意見 生ごみ削減のためコンポスト普及を

議会 より効果的に資源回収を進めるために、さ
まざまな手法による広報の充実を町に求め
ます。

ごみ減量は
待ったなし



村山さん(東本郷)

センターでの分別などに
より、燃えるごみの量が
大幅に減りました。今後も
ごみ削減に真剣に取り組む
ことを望みます。

若い人が
立候補できるように



三原さん(富多)

報酬が少ないため立候補
をあきらめる若者も多いの
では。古い基準に縛られず
生活できる報酬にしてもい
いのではないしょうか。

議会

意見 若い人や子育て世代も立候補できる報酬を考
えるべきでは

議会 昭和53年に、全国町村議長会が議員報酬の
全国基準を首長給与の30%と示したことが現在
まで影響しています。多様な方が議員を志すこ
とができるよう、報酬の根拠を明確にしながら環
境整備に努めます。

みなさんからいただいた意見は……



ご意見と回答書は町長にも提出しました

議会からの意見は生かされたか

議会では、5年度の予算審議の際に、全会一致で7項目の意見をつけていました。

予算執行にあたり、議会の意見が生かされたかどうか、町側に回答を求めました。

1 予算書などの議案は正確を期すこと

答 議会に上程する議案は事前に読み合わせを行い、複数の目で確認するように改善した。

2 入札制度の研究を

答 5年度から、一部の入札については予定価格と最低価格を事前公表したり、5000万円以上の工事は条件付き一般競争入札を開始した。

3 消防団車庫の建設は地域の意見を聞いて

答 別の場所であるという意見もあったが、用地買収に時間がかかるので地元と協議のうえ車庫の横に建設した。

4 防犯灯の設置推進を

答 予算を従来の150万円から300万円に倍増し、各区長に制度を周知した。さらに年度途中に180万円を追加してすべての要望を実施した。

5 地域おこし協力隊の活用は

答 広報紙への掲載や、年度末に活動報告会を実施した。ごみ減量化や地域コミュニティの活性化、企業と地域、行政との連携に取り組んでいる。

6 のりあい定額タクシーの充実を

答 広報紙やインターネットなどへ掲載し町民への周知を図っている。また、今年9月から3カ月間、夜間実証運行を実施する。

7 資源回収は目的を明確に

答 町民500名を対象に資源回収アンケートを実施した。生ごみ処理事業は6年度まで実証実験を行い、登録者数は町内人口の1割をめざす。

どう使われた？ 131億円

令和5年度の決算審査では、特別会計などを含む131億円の支出を審議しました。そのうち一般会計の支出は99億7052万円で、当初予算から約10億円の増加となりました。収入では法人税、町民税やたばこ税、ふるさと応援寄附金の増加により、前年度比9%の伸びとなりました。



2億9569万円

菊地小学校を増築

児童数や特別支援学級の増加にともない校舎を増築しました。



4億5359万円

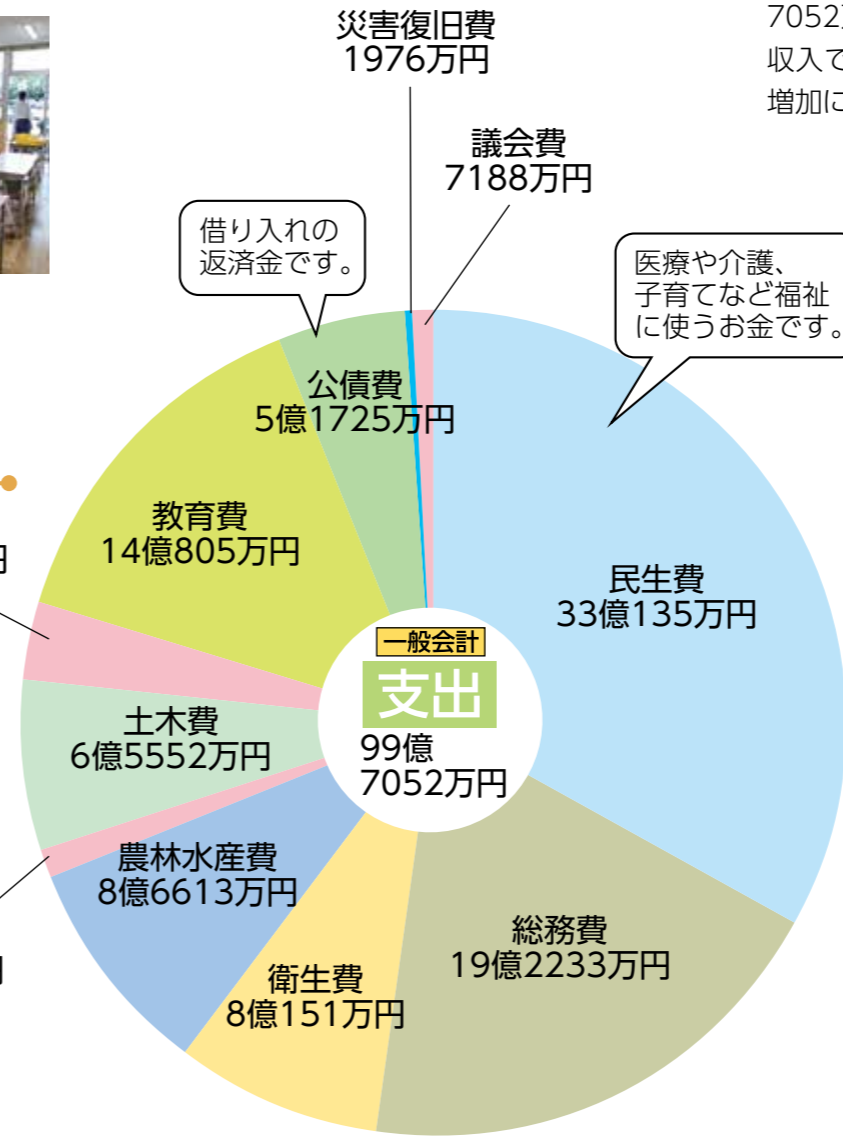
ため池を浚せつ

下高橋中島、長助塚、屋敷付のため池を浚せつし、大雨時の貯水機能向上を図りました。

3億5702万円

中央公民館の大規模改修

老朽化にともないリニューアル。防災用倉庫やシャワー室を設置し、災害時の避難場所としての機能も備えました。



7992万円

医療費を18歳まで助成

昨年の10月から助成対象年齢を18歳の年度末までに引き上げ、保護者の負担軽減と対象者の健康増進に努めます。

2289万円

大刀洗地域ブランド創出事業

えだまめ収穫祭、大刀洗マルシェ「かてて」、香港向けPRなどを通じ、大刀洗の知名度向上を図っています。

1億8319万円

健康管理センターを大規模改修

相談員室の新設や、こども家庭センターを開設し子どもや家庭への必要な支援を備えた施設に。



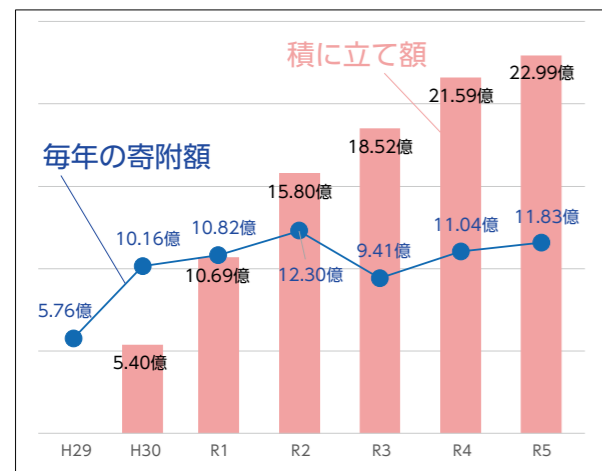
ふるさと応援基金の 使い道は

毎年、町内外から10億円前後のふるさと応援寄附金をいただいています。そのうち半分が返礼品や事務手数料、残りの約5割を町で積み立てて、寄附の目的に沿って事業に活用されています。

5年度は128の事業に約4億円を使いました。おもなものは、

- 菊池小学校の増築、駐車場整備 **7723万円**
- 健康管理センターの大規模改修 **8794万円**
- 子ども医療費への給付金 **1224万円**
- 学校給食費などに助成 **1248万円**
- 勤労者体育センター照明改修工事 **1280万円**

ふるさと応援寄附金の推移



決算委員会

5年度の事業を 厳しく チェック!



業者選定は適正か

議員 住民協議会や香港PRRなどでの、特定の業者との随意契約はおかしいのではないかと。経費や地元理解の点からも、東京や海外の業者ではなく、地元の業者にすべきでは。

答 今後は入札を考えた。また、経費節減のためにも地元業者などを検討する。

えだまめ収穫祭の 今後は

議員 近年は参加者が8千人を超えたが、町内外の参加比率は調査しているか。枝豆は町内の名産とは思えないが、どこから仕入れているか。

答 町内外別のデータは取っていない。使用する枝豆はすべて町内産で3軒の農家から仕入れている。

集落外の防犯灯設置は

議員 防犯灯の設置状況と、設置されていない箇所への対応は。

答 区長からの要望箇所はすべて設置できた。集落外の幹線道路については、設置間隔などの規定もあるので一概には言えないが、要望があれば検討したい。

同和関連の支出は 妥当か

議員 同和を名乗る一団体に研修補助金がついているが、行政目的やその効果に照らし妥当か。

答 同和問題の完全解決を目指し活動されており、適正な支出と考える。

防災ラジオの普及を

議員 在庫数に比べて普及率が低い。目標などは設定しているか。町内への全戸配布や、災害危険地域への優先配布の検討は。

答 必要な町民には購入や無償配布をすすめており、普及に向けて研究する。



町営住宅の管理は

議員 町営住宅の管理規則は、民間の賃貸よりも借り主に厳しいのでは。高齢などで物件管理が困難な入居者が多いと思うので、親切な対応を。

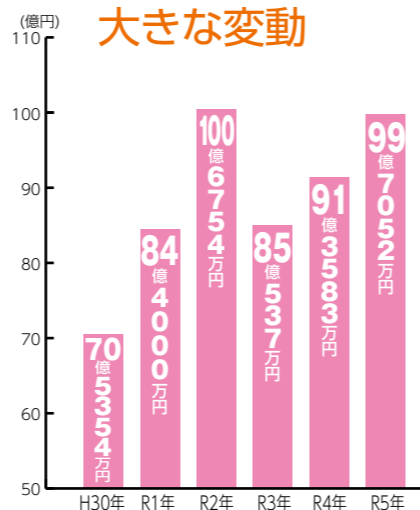
答 立ち木などについては、入居者による管理が困難な場合は個別に対応を考えている。

税の収入状況は

※四捨五入により合計が一致しないことがあります

	収入済み額	滞納額	徴収率	前年徴収率
町民税	7億2160万円	3178万円	95.5%	95.1%
固定資産税	8億552万円	3013万円	96.1%	95.1%
軽自動車税	6557万円	273万円	95.7%	94.8%
たばこ税	1億5438万円	0	100%	100%
計	17億4707万円	6464万円	96.2%	95.5%
国保税	3億2331万円	4876万円	85.8%	86.6%
下水道使用料	2億6167万円	2718万円	89.6%	89.3%

一般会計は災害や コロナ対応で 大きな変動



連続する水害の復旧に

2000万円

農業災害の 復旧に

1504万円

- ① 農業災害の測量設計 **1198万円**
- ② 五間木地区の災害復旧 **164万円**
- ③ 高園地区の災害復旧 **140万円**

公共土木施設の 復旧に

472万円

- ① 災害ごみの処分を委託 **40万円**
- ② 大刀洗校区の災害土砂撤去 **116万円**
- ③ 大堰校区の災害土砂撤去 **316万円**

5年度も大雨による町内の被害がいつぎました。国や県の災害復旧にあわせ、町独自の対応もおこなわれました。

来年に生かせ 議会の提言

- 1 住民協議会、大学連携まちづくりなど、中長期的な継続事業については、ありかたや実施方法、効果を検証し、見直しを含め検討を。
- 2 校区センターでの資源回収ステーション事業は、成果や関係課との連携を再検証し、見直しや継続など方針を明確に。
- 3 イベントなどをとまなう事業の委託にあたっては、業者選定の方法など、運営の見直しも含め検討を。
- 4 下水道や橋などの公共施設については、将来の改修を見据え、長期的視点で基金の積み立てや運営を。
- 5 決算書や報告書については、様式の統一などの努力は評価するが、数値の誤りなきようチェック体制の強化を図ること。



野瀬決算委員長

毎年同じような意見を述べているが、なかなか改善しない項目も見受けられます。議会の意見を真剣に受け止め、適正な行政運営がなされるよう、今後も住民目線で監視します。

議員間で自由討議

住民協議会

コーディネーターも毎回同じ業者で、回を重ねるごとに結論ありきの会議になっていないか。業者選定や実施方法を工夫すべき。

防災ラジオ

議会から毎年意見を付けているが、なかなか普及が進んでいない。配布対象者や普及率などの目標設定が必要では。

えだまめ収穫祭

開催日が枝豆の収穫時期の5月中旬からずいぶん過ぎている。日程を見直すことと、農政課とも連携して町内のさまざまな農産物をPRすべき。

ため池浚せつ工事

3カ年かけて実施されたが水害防止の効果はどうか？今後も検証が必要。

香港でのPR

結果が見えてこない。なぜ香港なのか？どういう関係を作って誰になにを売りたいのか。



全員協議会

大刀洗町議会では、基本条例にもとづいて、すべての議案で議員どうしの自由討議を実施しています。決算委員会でも質疑を踏まえて討議しました。

討論

中央公民館や健康管理センターの大規模改修、ため池しゅんせつなどの重要な事業、資源回収ステーション、のりあい定額タクシーといった実験的な施策など、数多くの事業が計画どおり適切に実施されている。

賛成



平田



平山

自由討議と討論の結果、一般会計と2つの特別会計は賛成多数で、そのほかの会計は全会一致で認定しました。

3日間の審査と討議を踏まえ、決算委員会から町に対して、5点の意見をつけました。

反対

18歳までの医療費助成などはおおいに評価。いっぽう、香港でのPRや特定の業者との契約、同和団体への支出などは賛成できない。近年は町行政が正常に機能しておらず、徹底した自己改革と再構築が必要。

会計別の決算状況

*四捨五入により総額が一致しないことがあります。

	収入	支出	差し引き残	支出の前年度との比較
一般会計	107億1078万円	99億7052万円	7億4026万円	8億3469万円 増(9.1%)
特別会計				
国民健康保険	18億1222万円	17億7283万円	3939万円	4909万円 増(2.8%)
後期高齢者医療保険	2億4117万円	2億3366万円	751万円	464万円 増(2.0%)
土地取得	471万円	0万円	471万円	±0万円 (±0%)
合計	127億6888万円	119億7702万円	7億9186万円	8億8841万円 増(8.0%)
下水道				
収益的	6億9171万円	7億0954万円	△1783万円	-
資本的	2億9963万円	4億4251万円	△1億4288万円	-

※下水道会計は5年度より別会計になりました

すべて可決

すべて可決したが議事混乱も



9月議会では、補正予算や条例、農業委員などの人事を審議し、すべて可決しました。町の誤りをめぐって議事が混乱しました。

9月の補正予算では、ふるさと納税（応援寄附金）の増加や住基システムの更新などが計上され、総額で5億9052万円の追加となりました。

議員 文化財の職員が足りていないのではないかと。事業が多いので急ぎ採用すべきでは。

課長 今回の補正で職員の採用試験費用を計上したが、多忙なこともあり今年度の試験実施は不可能と考える。来年度に試験を実施したい。



宅内の説明を受ける（4月）

三原城址
住宅の調査費を
計上 119万円

三原城址の土地買収費については3月議会で認めませんでした。敷地内の佐々木家住宅について、文化財としての価値を調査するための費用を可決しました。

議員 予算のなかに、対象の民家を活用するプロジェクトの委託料がそのまま残されているが、今回の文化財調査とは相反する内容になるのでは。

町長 三原城址の買収費が認められなかった時点で当初の活用プロジェクトは実施できないものと考えており、いずれは補正予算で減額したい。

賛成

賛成はするが、執行にあたっては三原城址についての事業を整理すること、文化財職員の採用が急務。

[平山]

■おもな追加予算

	追加額
ふるさと納税の返礼費用	2億4750万円
ふるさと納税を基金に積み立て	2億5000万円
佐々木家住宅調査委託料	119万円
文化財職員採用試験委託料	10万円
道の駅推進事業	59万円

空き地の管理条例



これまで空き家についての条例は定めていましたが、空き地についても条例を新設し、住民の安全と生活環境の確保をめざします。

議員 空き家条例や農地法などとの関連性や連携はとれているか。強制力がないが代執行はできるのか。

課長 この条例で可能なのは所有者を調査し指導するところまでで、代執行はできない。

新設

国保などの条例



マイナ保険証の受付窓口

紙の健康保険証廃止にともない、関係する国保条例や後期高齢者医療規約の条文を整理するものです。

このほかに

調節池の整備にともなう町道の廃止や、住基ネット機器の契約（1042万円）などを審議し、いずれも可決しました。

改正

新しい農業委員さんです

任命



農業委員と推進委員のみなさん

- | | | | | | | | | | | |
|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 柳中山 | 中柳 | 中原 | 辻 | 原 | 平田 | 白石 | 大石 | 成富 | 平城 | 棚町 |
| 忠文 | 繁彰 | 信介 | 広幸 | 和昭 | 季文 | 功一 | 敬子 | 寿永 | 泰永 | 山隈 |
| （高橋） | （下高橋） | （中川） | （春日） | （鳥飼） | （菅野） | （東郷） | （北郷） | （西田） | （山隈） | （山隈） |
| 再新 | 再新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 新 | 再新 |

定数は11名で、町長が提案し議会が同意します。任期は9月29日からの3年間です。このほかに、8名の推進委員さんが農地の適正利用のため活動します。

農業委員とは…農地の貸借や売買、農地転用許可などについて、総会で審議し判断を行います。

請願・意見書

教職員の定数改善などに関する意見書

請願者：福教組小郡三井支部長
紹介議員：實藤 量徳

- 35人以下学級計画を中学まで伸ばすなど、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 義務教育における国庫の負担割合を2分の1に復元すること。

全会一致で可決し、意見書を衆参議長や関係大臣に送付しました。

たび重なる誤りや 不適切対応に 苦言

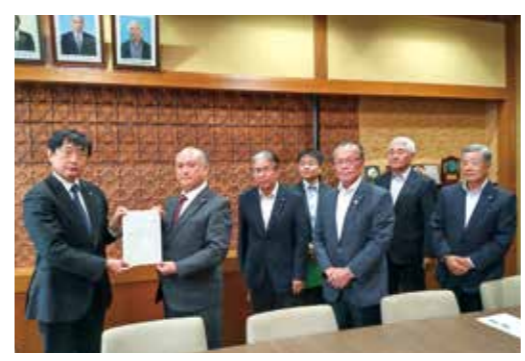
9月議会では、町が提出した補正予算の誤りや、発覚後の不適切な対応のほか、別の議案でも職員発言の取り消しや訂正などが多発し、議会審議が混乱しました。
これを受けて、議長と議会運営委員会は、行政運営の適正化を町長に申し入れました。

おもなできごと

- 下水道事業の予算が誤っていることが議員の指摘で判明したが、行政の対応が遅く議会運営が混乱。当初の議案を町が撤回のうえ、新しく2件の補正予算を提案、可決
- 人事案件で、職員が個人情報を朗読し、のちに町長から発言を取り消したいと最終日になって申し出
- 条例案で、職員が誤った説明をしたため訂正をしたとの申し出があったが、最終日に議員の指摘があるまで訂正されず

申し入れ内容

- 1 法務実務の確立と、誤りがあった際には議会と協議し適切な対応を。
- 2 担当課や担当職員にまかせっぱなしにせず、職員間の連携で組織的な対応を。
- 3 議会で答弁を保留した項目については、町長を責任者として迅速な回答と対応を。
- 4 議会への説明と答弁は、管理職を含めた複数の職員で対応を。



中山町長に申し入れ（10月31日）

全員協議会 どうなる？ 菊池連絡所

10月の全員協議会で、町側から菊池連絡所の今後について説明がありました。議会からは、存廃の是非や、結論を出す時期について計画を示すべきなどの意見が出されました。

町側の説明

- 現在、就業改善センターの改築にともなって菊池連絡所は閉鎖している。
- 菊池連絡所での事務取り扱い件数は年々減少しており、存続の是非について検討が続いている。改築が終了しても連絡所を再開しない可能性がある。
- かつては菊池支所だったが、平成26年に支所条例を廃止し、現在は規則により連絡所を運営している。



改修中の就業改善センター

議会からのおもな意見

- 存廃の検討については、結論を出す時期を決めるべきでは。
- 存廃を検討するにあたっては、関係する行政区や地元住民へのていねいな説明が必要。アンケートも地元の全戸を対象に実施しては。
- 議会としても、26年に条例を廃止すべきではなかった。議会の同意なしに連絡所を閉鎖することも可能になる。

視察を受け入れました



有田川町議会のみなさんと

広報の取り組みについて、全国の議会からお越しいただき、活発に意見交換しています。

- 7/8 愛媛県砥部町議会
- 7/26 和歌山県有田川町議会
- 7/10 大分県別府市議会
- 8/2 福岡県志免町議会
- 7/23 大分県宇佐市議会

広報の先進地や 研修会で学ぶ



開成町議会の刺激的なWebデザイン

議会広報のトッパンナーからも報告が

9/24・25 広報委員会は、神奈川県開成町議会を訪問し、議会Webのデザインや発信手法について学びました。全国議会広報研修会では、伝わる議会広報について3名の講師から指導を受けました。

私はこう判断

(○…賛成、×…反対) ※議長は採決に加わりません

		松本	古賀	中村	平田	實藤	安丸	平山	河野	大石	白根	野瀬	高橋	会議の結果
		照行	世章	竜博	康雄	量徳	眞一郎	賢治	政之	純	美穂	繁隆	直也	
5年度決算	一般会計、国保会計、後期高齢者医療会計	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	認定
	土地取得、下水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	認定
補正予算	一般会計、国保会計、後期高齢者医療会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	下水道事業会計補正予算の撤回、修正分の補正予算(2件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
条例など	国保条例の改正、後期高齢者医療広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	-	可決
	農業委員の任命(11名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
	町道の廃止、住基ネット機器購入契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	否決
	教職員の定数改善などに関する請願・意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決



なかむら たつひろ
中村 竜博 議員

少年の船事業に支援を

教育長 最善の方法を検討していく

議員 来年以降、本町は事業募集対象から外れる可能性があるようだが町の考えは。

教育長 運営団体には長年や青少年健全育成に寄与していることは理解している。

議員 たくましく、心豊かな青少年の育成を目指した小郡・みい少年の船事業への助成をやめた経緯の説明を。

課長 参加者の減少や相撲大会の時期の重なり、町独自の宿泊事業などの状況を踏まえ、平成23年以降に中止した。



40年以上の歴史がある少年の船（令和元年）

議員 運営団体から支援の依頼があった際は前向きに検討を。

教育長 保護者や児童、地域から継続を望む声があれば最善の方法を検討していきたい。

議員 説明会を知らなかったとの声も聞か、改めて開催する考えは。

課長 県の事業のため、要望があれば県へ申請する。

町長 地元や地権者、耕作者などに説明会を開き、設計に必要な測量や境界の立ち会いを実施している。

議員 洪水対策の陣屋川調節池の進捗状況は。

町長 要望があれば県と協議する

陣屋川調節池の活用を

議員のつぶやき 学校教育だけでは難しい多様な経験が得られる少年の船事業に、本町から参加できなくなれば大きな損失だ。



議員 町から何か要望は出しているか。

町長 現在、具体的な要望は出していないが、完成後の状況を確認したうえで、地元から具体的な要望があれば県と協議する。

部活動の地域移行は

課長 ソフトボール部を検討中

としたアンケートの実施、「働き方改革及び部活動にかかる指針」の改訂版の策定、部活動代表保護者会や地域移行協議会を開催した。なお、今年10月に2回目



ひらた やすお
平田 康雄 議員

議員 昨年度から3年間が部活動地域移行の改革推進期間で、本年度から重点地域の指定もされている。本町の地域移行のあり方や取り組み状況は。

教育長 教職員の働き方改革を進めるため、これまで教職員や生徒を対象

課長 女子ソフトボール部を移行できないか検討している。部員数が少なく、単独での部活動の維持が困難なため、小郡市の中学校と合同でチームを組めば活動できるのではないかと考えている。

議員 移行予定の部活は未定とのことだが、検討している部活はあるか。その理由は。

教育長 現時点では未定だが、7年度中に決定できればと考えている。

議員 地域移行予定の部活や決定時期は。



ごみペールを使えばカラス被害はゼロ

町長 補助する予定はない

議員 ごみ集積所での生ごみの飛散防止対策について、町の考えは。ふた付きごみペールの利用促進と購入補助を。

ごみペールの購入に補助を

議員のつぶやき 町も住民も集積所の生ごみ飛散防止に努めるべき。きれいに掃除されている三輪産業さんには感謝したい。



町長 ごみ飛散の報告があった場合は現地を確認し、適正な措置を行うようお願いしている。ごみペールはカラスの被害防止には有効だが、通行の妨げになる恐れもあるため、補助する予定はない。



町政を問う!

一般質問

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含めて60分です。

映像配信は [コチラ](#)



議事録は [コチラ](#)

掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。議事録は、議会事務局、各校区センターでもご覧いただけます。





ひらやま けんじ
平山 賢治 議員

町の歴史を踏まえ 平和の発信を

町長 どのような
発信ができるか検討



町内外に戦争遺構が点在している

町長 戦争は最大の人権
侵害であり、二度と
きではないか。

議員 戦争と平和につい
てどう考えるか。来
年は終戦80年であり、体験
談の継承や戦争遺構の保存
平和の発信など、飛行場を
有した町として取り組むべ
きではないか。

町長 どのような形で実
施できるかは分から
ないが、80年を踏まえて平
和の尊さと戦争の悲惨さを
どう語り継いでいくかを検
討したい。

議員 戦争体験者も年々
お亡くなりになり、
事実の継承が課題となっ
ている。来年1年かけて、広
報紙で特集を組んだり、大
学連携、地域おこし、住民
参加の会議などのテーマと
して取り組む決意が必要で
はないか。

繰り返してはならないと考え
る。戦没者追悼式や平和学習
などを通じて、今後も平和に
関する発信に取り組む。

町長 町内産品の知名度
向上や町のPRを目
的とし、香港で日本酒の流通
が定着したなどの実績があ
る。過去5年間の旅費は約
74万円で、今後も知名度向上
を目的に実施していく。

議員 町内産品の売り込
みなどという名目で、
町がシンガポール、香港な
どでPRを始めて12年目に
なるが、その目的や効果、
費用はどうか。今後も続け
るのか。

町長 シンガポール時代
使ったと答弁があったが、
過去5年より以前の旅費は
どうなっているか。

課長 文書の保存期間が
5年間であり、それ
以前の旅費の資料は保存し
ていない。

議員のつぶやき
海外渡航に関して、あ
まりの不誠実な答弁に
びつくり。税金を使って
いい事業ではなく、ただ
ちに廃止すべきです。



通学路の安全対策を

町長 30キロの
速度規制などを実施



この まさゆき
河野 政之 議員

議員 国道500号線
の渋滞により、通学路
であるふれあい通りが車の
抜け道になっている。交通
量が多いのでスクールゾ
ンの拡大など安全対策を。

町長 菊池小学校周辺の
安全対策のため、平
成26年度から小学校を中心
に国道道や主要な町道で囲
まれたエリアをゾーン30に
指定し、最高速度30キロの
規制をかけている。
ふれあい通りはこのエリ
アから距離があるので、
ゾーン30に取り組むのは難
しいと考えている。



白線が消えているふれあい通り

議員 側帯の整備を。

町長 道路幅が広い場所
には両側に路側帯が
あるが、狭い場所は路側帯
がなく、引かれていた白線
も消えているので、地元
の要望を確認のうえ、関係法
令も踏まえ、路側帯の設置
について協議したいと考
えている。

町長 国道500号線は
交通量が多く、現場
はカーブで見通しが悪いた
め、新しく町道を接続する
と交通事故の危険性が増す
と考える。従来どおり東側
への通行をお願いしたい。
いか。

町長 事故の危険性が
大きくなる

議員 北山隈3組の生活
道路と国道500号
線が接している地点のブ
ロックを取り除いて、直接
出入りできるようになら
ないか。

議員のつぶやき
子どもたちは町の財
産です。自動車事故か
ら子どもたちを守る安
全対策を急いでほしい。



えだまめ収穫祭は 時期の変更を

町長 可能なら来年度から
前倒しを実施



やすまる しんいちろう
安丸 眞一郎 議員



猛暑の中多くの来場者で賑わう収穫祭

町長 収穫祭は猛暑の中
での開催になってい
るが、来場者や出店者への
熱中症対策は大丈夫か。

議員 収穫祭は猛暑の中
での開催になってい
るが、来場者や出店者への
熱中症対策は大丈夫か。

町長 生産者と協議を重
ね、可能であれば来
年度から前倒しを実施して
いく。

議員 開催時期の変更を
検討すべきでは
ないか。

町長 先行自治体の動向を
調査し検討する

町長 草刈りや遊具の管
理は地元でお願いし
ている。高齢化や組織率の
低下などの理由により維持
管理の負担が大きいといっ
たご意見により、すべての
遊具の点検を町が実施。遊
具の修繕や草刈りへの補助
などで経費や作業負担の軽
減を図ってきた。

議員 課題を踏まえ、開
発面積の下限面積を
3千㎡から1万㎡まで条例
で緩和できるように法改正
されたが、町でも見直して
はどうか。

町長 条例を制定するに
は県と協議が必要で
あり、県や先行自治体の動
向を調査し、今後検討する。

議員のつぶやき
枝豆とビールは合
いますが、旬のものが最
高においしいですね。
皆さん。



どうだった? 今回の議会

10月3日に6名のモニターさんと懇談し、議会運営や一般質問についてたくさんのご意見をいただきました。議会で協議のうえ、改善や活動の充実に努めます。



ネット配信の改善を

インターネットで視聴しているが、再開の時刻が分からず困りました。視聴者側に立った改善を。

議会から
時間の表示や質疑の内容がわかるように、表示の改善が可能か検討します。

コストや効果の検証を

町の事業に関する経費や効果などのデータが上がってこない。コストも考えるべきでは。

議会から
町の事業をデータ化するのには難しい面もありますが、議会としても効果の見える化を求めています。

いろんな人が立候補できる企画を

勤め人も含め、若者や女性の議員を増やしないと町は変わらないのでは。男女のバランスが取れた議会が必要。広報で特集してはどうでしょうか。

議会から
Webのリニューアルを予定しており、議会が身近に感じられる企画を考えています。モニターさんにも関わっていただければありがたいです。



川野さん
(西栄田)

ネットで視聴していますが、手元に資料がないので分かりにくい。議案や資料を画面に映るように改善できないでしょうか。

質問に対する回答がはっきりしないことが多いようです。議員も、もう少し突っ込むべきでは。



橋本さん
(上高橋)

手話 通訳あります

本会議などに手話通訳者を配置できます。

お問い合わせ
議会事務局 TEL77-4112 (FAXも同じ)



声の議会だより お届けします

議会だよりの全文朗読をCDに収録して自宅にお届けします。

お問い合わせ 社会福祉協議会 TEL77-4877

議長通信



議長 高橋 直也

9月議会では、議会の大切な権限のひとつである決算認定を行いました。令和5年度の町の予算が適正に、目的に沿って効率的に使われたか、どのような効果を発揮したか、住民の皆さんに代わって多角度から審査し、財務や政策に関する問題点を指摘しました。議会の監視責任をまっとうするうえで、決算審査は行財政運営の改善につながる大切な意味があります。審査の結果が、来年度の予算編成にしっかりと生かされるよう、引き続きチェックしてまいります。

会計年度任用職員の待遇改善を

(平田 康雄議員)

問

①子の看護や育児休暇など、子育て支援に関する休暇を有給に。
②人事院勧告を踏まえた遡及分の報酬支払いを。

答 検討中

①看護休暇は国に準じており、育児休暇は育児休業給付金が支払われているため無給としている。今後、国の動向や近隣市町村の状況を踏まえて検討する。

②人事院勧告を踏まえた遡及分の報酬支払いについては、近隣市町村の動向を踏まえて検討する。

ボランティアの表彰を

(平田 康雄議員)

問

ボランティアの個人表彰の検討を。

答 検討中

今後の表彰審査委員会において検討する。

*10月7日の委員会、表彰する方向で引き続き検討することになりました。



追跡
レポート

どうなったあの質問は

一般質問で、町長が「検討する」と回答した内容について、質問者は次の定例会までに検討状況の報告を求めることができます。

6月議会の質問に対する町の回答をお知らせします。

区長要望の取り扱いは

(松本 照行議員)

問

不採択となった要望も区長に経緯の説明を。

答 検討中

今年度の実施方法も含め、採択の有無を報告できるよう検討中。

障がい者の雇用促進を

(白根 美穂議員)

問

①町内企業への障がい者雇用促進を。
②本町職員への障がい者雇用拡大を。

答 対応中

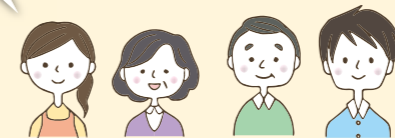
①町内の2企業から理解を得られており、10月に障がい者などを対象とした見学ツアーを予定している。

②現在、障がい者を対象とした会計年度任用職員の募集に向け対応中。また、8年度以降の正規職員、会計年度任用職員の採用に向けて協議中。

傍聴席から こんな声もいただきました

要望と質問はちがうのでは。発言が説得力を持つような一般質問のやりかたを研究してほしい。

町の課題について、途中経過を知ることができてよかった。



一般質問をするのであれば、内容についてもっと事前に調査してほしい。

災害に対応できる町政を



今区 青木 創真さん(17歳)

Q 学校生活はいかがですか。将来の夢は。

A 写真部に所属していましたが、7月に卒部となったので、放課後は学校や図書館で勉強しています。社会科が比較的得意なので、高校では法律や政治も学習しています。

将来は大学の法学部や法科大学院で法律を専門に学び、弁護士か政治家として社会に貢献したいと思っています。

Q 18歳になると選挙権を得ますが、政治に対する考えは。

A 最近、若年層の選挙離れや少子高齢化といった言葉が取りざたされています。投票に行く若い世代

の減少は社会にとって深刻な問題であり、若年層の投票の重要度は以前よりいっそう増していると思います。選挙では、公約以外にも過去の実績や掲げる政策の内容、その人の人柄なども考えて投票しようと思っています。

Q 大刀洗町の魅力や課題は。

A 大刀洗町は暮らしやすい町だと思います。広大な自然や良好な町民関係は、その暮らしやすさに大きく貢献しているようです。仕事の関係で大刀洗町に住めないかもしれませんが、機会があれば、ぜひ帰ってきたいです。

課題は2つあると思います。1つは災害対策、もう1つは夜間の明かりの確保です。特に災害対策は重要で、激甚化する災害に対応できる町政が求められます。

高校生とは思えないほどしっかりとした考えを持った青年でした。社会に貢献したいという気持ちを大切にしてください。



聞き手から (平田)

インターネット配信やっています



ここをクリック

パソコンやタブレット、スマートフォンからご覧いただけます

次回定例会の予定

12月6日(金)～18日(水)

一般質問

12月10日(火)、11日(水)

お問い合わせ ☎77-4112(議会事務局)

議会 Facebookも更新中

QRコードからアクセス



編集後記

広報研修会において、埼玉県寄居町議会の広報委員長から「読まない議会だよりに出す意味なし」というタイトルで事例発表がありました。全議員が住民取材に参加する、といった具体的で説得力のある内容でした。

私たち「読んでもらえる議会だより」を目指して日々編集に励んでいます。研修成果が少しは反映できたでしょうか。

(平田)

- 広報委員長 平山賢治
- 副委員長 大石純
- 委員 中村竜博
- 委員 平田康雄
- 委員 白根美穂